平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	各種公園　維持・管理								継続
コード	24	－	62	－	03	－	00	予算事業名	各種公園整備
担当部署	都市計画部		公園整備課		公園管理担当			予算事業コード	会計 10 款 08 項 04 目 05

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	各種公園整備
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	川越市緑の基本計画
施策	5	公園の整備と充実		
細施策	6	公園の適正な管理と魅力の創出	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	都市公園法、国土交通省通達			

法令による実施義務：義務

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	老朽化した公園施設の補修・改修や繁茂した植物の苅込み・剪定、園内清掃・トイレ清掃等日常管理を行うことにより、市民に安全・安心で魅力あるレクリエーションの場を提供する。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	施設点検調査により、不具合箇所の補修・改修などや除草・剪定等の作業、園内清掃・トイレ清掃等を行うとともに市民からの陳情・要望に対応した維持管理業務を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		330,077	296,368	308,240	402,260	241,060	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	314,118	295,364	294,719	347,882	240,000	268,610
人件費	B	37,000	37,000	30,340	29,970	29,970	29,715
総コスト（C＝A＋B）		351,118	332,364	325,059	377,852	269,970	298,325
正規職員（1年間の従事人数）		5.00人	5.00人	4.10人	4.05人	4.05人	4.05人
臨時職員（1年間の従事人数）							
国県支出金	D	32,842	20,000	20,000	11,000		
その他特定財源	E		18,000	17,800	27,900		14,200
市の財政負担（＝C－D－E）		318,276	294,364	287,259	338,952	269,970	284,125

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
活動	除草等植栽管理委託公園数	箇所	99	98	98	102	104	26年度	105
	指標の定義・説明								
活動	園内清掃実施公園数	箇所	84	86	86	92	93	26年度	95
	指標の定義・説明								
活動	遊具等施設保守点検公園数	箇所	0	157	162	166	170	26年度	175
	指標の定義・説明								
成果	公園内事故発生件数	箇所	0	0	0	2	0	26年度	0
	指標の定義・説明		公園内において、傷害保険を適用するに至った事故の発生件数						
指標に基づく評価			近年の厳しい財政状況により対応が難しくなりつつあるが、除草・園内清掃等については、内容・箇所数ともに現状維持に努めている。また、遊具等についても、保守点検の結果や市民からの要望等を受け補修・改修工事を行い、事故等の発生を防止している。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1)　現在の課題と状況　　有効性に課題

管理する公園は増えていく一方であるが、施設は老朽化し植栽管理も厳しい状況である。このような状況下にあって、継続的な利用者への安全対策は必要であり、管理内容の優先順位付けなど効率的な管理方法を確立する必要がある。

(2)　比較参考値（他市での類似事業の例など）

(3)　事業を廃止・縮小したときの影響

施設の老朽化や不具合による事故の発生、更に日常管理が行き届かなくなることから、安全・安心な公園を市民に提供することが困難となる。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			都市計画部				公園整備課	公園管理担当
事務事業名称			24	62	03	00	各種公園　維持・管理	
今後3年間の方向性	25年度	継　続	公園は利用者の安全・安心の確保が最重要であるため、清掃、除草等の日常的な維持管理は勿論のこと、不具合や老朽化した施設の修繕、改修を迅速かつ計画的に進める必要がある。今後も財政状況が厳しくなるが、国庫補助金などを活用し、施設改修の計画や遊具等の更新を進めていく。					
	26年度	継　続						
	27年度	継　続						